

東山魁夷館リニューアルオープン記念展

2019年10月5日（土）～12月3日（火）

改修工事のため約2年半の休館を経てリニューアルオープンする第Ⅰ期となる本展では、長野県信濃町にある野尻湖を取材地とし、昭和30年度の芸術院賞を受賞した《光昏》や、連作「京洛四季」の代表作《花明かり》、唐招提寺障壁画で挑んだ水墨画をへて生み出された《春雪》など、当館が所蔵するスケッチなどとともに展示し、作品が出来上るまでの軌跡をご覧ください。

また、当館収蔵品の中で最も人気の《緑響く》は、この期間に展示いたします。

主な展示作品（本制作ほか）

《緑響く》、《光昏》（日本芸術院）、《花明り》（大和証券グループ本社）、《春雪》（千葉県立美術館）、《郷愁》（個人蔵）、《夕静寂》、《行く秋》、《紅葉の谷》、《静映》、《山霊》、《静晨》、その他スケッチ、習作など

第Ⅱ期

2019年12月5日（木）～2020年2月4日（火）

唐招提寺御影堂障壁画の試作や準備作を中心に、《白馬の森》などを展示します。

主な展示作品（本制作ほか）

《白馬の森》、《夕星》、《灘江暮色》、《冬の旅》、《緑の窓》、《聖夜》、《霧氷の譜》、唐招提寺御影堂障壁画第2期試作、唐招提寺御影堂障壁画第2期準備作、その他スケッチ、習作など

第Ⅲ期

2020年2月6日（木）～2020年4月7日（火）

《山谿秋色》など、東山の若き日の作品を中心に、北欧の風景を描いた作品などを展示します。

主な展示作品（本制作ほか）

《草青む》、《山谿秋色》、《春潮》、《静唱》、《窓》、《石の窓》、《牡丹図》、《柿生の里》、《祭の夜》、《沼の静寂》、《北欧風景スケッチ》、《コンコルド広場の椅子》、その他スケッチ、習作など

※展示は予定です。予告なく変更する場合がございます。予めご了承ください。

※今年度、《緑響く》はリニューアルオープン記念展、《白馬の森》は第Ⅱ期にて、展示いたします。